

\\ 10分でわかる！ //

2025年6月IAASBボード会議



【説明者】

田邊 律也（当協会研究員）

坂口 正俊（当協会研究員）

IAASBの主なスケジュール（2025年～2027年）

プロジェクト名	2025年				2026年				2027年			
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
上場企業及び PIE（社会的影響度の高い事業体）	ITC*1 (2月)	★承認										
専門家に関連した狭い範囲の改訂	ED (4月)	→	承認									
監査証拠及びリスク対応		★	→	ED	→	→	→	→	承認			
ISA 500シリーズ		★	→	PP	→	→	→	ED	→	→	→	→
ISRE 2410		★PP	→	ED	→	→	→	承認				
テクノロジー	→											

PP: プロジェクト・プロポーザルの承認予定

ED: IAASBボードでの公開草案の承認予定 承認: IAASBボードでの最終承認予定

*1: 2025年2月に議論の背景や今後の予定を説明した、コメント募集文書（ITC: Invitation to comment）を公表

1 上場企業とPIE（社会的影響度の高い事業体）

プロジェクトの概要

- 国際会計士倫理基準審議会（IESBA）の「職業会計士のための国際倫理規程（国際独立性基準を含む。）」（IESBA Code）における社会的影響度の高い事業体（Public Interest Entity：PIE）及び「上場企業（Listed Entity）/公に取引されている事業体（Publicly Traded Entity）」という用語の改訂を受けた対応である。
- トラック 2：上記用語の定義について、改訂IESBA Code上の定義とISAs及びISQMs上の定義の最大限の収斂を図り、ISAs及びISQMsにおいて、PIE等に対する追加の要求事項の適用範囲を検討する。

2025年6月ボード会議の審議概要

- 最終基準を全会一致で承認
- PIEの定義に関する今後のアクションの検討
- 最終版の基準は、公益監視委員会（PIOB）によるデュープロセスの承認後に公表予定

タイムライン

2022年3月：プロジェクト・プロポーザル承認

トラック 2

2022年12月：ボード審議

2023年12月 公開草案承認

公開草案の公表：2024年1月8日
コメント期限：2024年4月8日

2024年9月：ボード審議

2024年12月：ボード審議

2025年2月 コメント募集文書(ITC)

ITCの公表：2025年2月10日
コメント期限：2025年3月27日

2025年6月 最終基準承認

（参考：トラック 1）

【解説記事】PIE に対する独立性に関する要求事項を適用している場合に開示を要求する IESBA 倫理規程の改訂に伴う狭い範囲の改訂（ISA 700・ISA 260）（JICPA作成）
https://jicpa.or.jp/specialized_field/20240215agt.html

2

監査証拠及びリスク対応

プロジェクトの概要

- 規制当局を含めた利害関係者から、監査証拠とリスク対応について統合的に扱うプロジェクトが必要との意見を受けたことから本プロジェクトを開始した。
- ISA 500^{*1}、ISA 330^{*2}及びISA 520^{*3}の改訂を同時に検討し、従来から行っていた監査証拠プロジェクトで扱っていた論点に加え、内部統制、テクノロジーに関連した論点が扱われている。

2025年6月ボード会議の審議概要

- 主に以下の論点について議論が行われた。
 - ▶ 分析的手続
 - ▶ 過年度の監査で入手した監査証拠の利用
 - ▶ 記録や証拠書類の真正性

タイムライン

2024年3月：情報収集

2024年9月：ボード審議

2024年12月：プロジェクト・プロポーザル承認

2025年3月：ボード会議

★ 2025年6月：ボード会議



2026年3月

公開草案承認目標

意見募集期間：120日間を予定

2027年9月

最終基準IAASB承認目標

*1 ISA 500「監査証拠」

*2 ISA 330「評価したリスクに対応する監査人の手続」

*3 ISA 520「分析的手続」

ISA 500シリーズ

プロジェクトの概要

- テクノロジーの利用による影響を含め、現在の企業及び監査環境を反映するため、ISA 501^{*1}、ISA 505^{*2}及びISA 530^{*3}を改訂するプロジェクトを行うことを予定している。

2025年6月ボード会議の審議概要

- 主に以下の論点について議論が行われた。

ISA 501	■ 企業の経営者及び監査人による棚卸資産に関するテクノロジーの利用の増加への対処 ■ 棚卸資産の实在性と状態に関する監査人の作業の明瞭化又は強化
ISA 505	■ 確認手続におけるテクノロジーの利用の増加への対処 ■ 確認手続に関する監査人の作業の明瞭化又は強化
ISA 530	■ 監査サンプリングの利用を促進するテクノロジーの利用の増加への対処 ■ 監査サンプリングに関する監査人の作業の明瞭化又は強化

タイムライン



2025年6月：情報収集



2026年3月

プロジェクト・プロポーザル
承認目標

2027年3月

公開草案承認目標

2028年6月

最終基準IAASB承認目標

*1 ISA 501 「特定項目の監査証拠」

*2 ISA 505 「確認」

*3 ISA 530 「監査サンプリング」

ISRE 2410

プロジェクトの概要

- ISRE 2410* は、2005年に発行されて以来、ほとんど改訂が行われていない。一方、ISRE 2410が公表されて以来、ISRE 2400（改訂版）の公表や、期中レビュー業務に関連するISAの改訂が行われたため、ISRE 2410の適用に問題や課題が生じている。
- 期中レビュー業務の目的に適合する形で、高まるステークホルダーの期待に対応し、また、独立監査人による、期中レビューの手の続の立案及び実施、並びに報告の際の一貫した実務を促進することを目的に、ISRE 2410の現代化及び改訂を検討する。

2025年6月ボード会議の審議概要

- プロジェクト・プロポーザルを全会一致で承認
- 以下の期中レビュー報告書に関する論点について審議が行われた。
 - ▶ 「結論の根拠」区分
 - ▶ 「結論」区分

タイムライン

2024年9月：情報収集

2025年3月：ボード審議

★ 2025年6月：プロジェクト・プロポーザル承認
ボード審議



2026年3月

公開草案承認目標

意見募集期間：120日間を予定

2027年3月

最終基準IAASB承認目標

* 国際レビュー業務基準（ISRE）2410「独立監査人が実施する期中財務情報のレビュー」

監査、監査以外の保証業務及びAUPに関する取組



[ホーム](#) > [協会について](#) > [協会の活動](#) > [監査、監査以外の保証業務及びAUPに関する取組](#)

監査

監査以外の保証業務及びAUP

国際監査・保証基準

解説動画等

ワークプラン及び適用スケジュール

公開草案等へのコメント



サステナビリティ～保証・開示・能力開発～

公認会計士とは

専門情報

一般企業の方へ

サステナビリティ

「サステナビリティ入門」ページに

サステナビリティ開示・保証に関する基礎的な解説も掲載しています。

保証

開示

能力開発

国内外のサステナビリティ開示
・保証に関する情報や
当協会の能力開発に関する情報を
紹介！

当協会ウェブサイトの[トップページ](#)
からアクセスいただけます！



●●信頼の力を未来へ
jicpa

◆日本公認会計士協会